



日本共産党 並木幹男 議員

新型コロナウイルス感染症対策について

問 現在、医療機関では、コロナ前からの国の診療報酬総額削減による経営困難や、コロナ禍の経営悪化を改善する医療機関本体への経営支援が不十分になっています。日本病院会など3団体による経営調査では、交付金を加えても、令和2年度の医業利益率がマイナスで、赤字に陥っている病院が、全体の半数近くに達しています。

そこで、さんむ医療センターの経営状況について伺います。

答 保健福祉部長 さんむ医療センターにおいては、新型コロナウイルス感染症患者の入院受け入れ病床を開設するため、一部、病床を閉鎖しています。それに伴い、入院患者数の減少により、本年7月末現在で、当期純損益で9200万円の赤字となっています。前年同期と比較しますと、590

0万円ほど悪化している状況です。

問 さんむ医療センターやその他の医療従事者へのコロナ対策としての支援策は、どのように行われているのか伺います。

答 保健福祉部長 昨年度、医療機関で働く医療従事者、事務職員、派遣労働者及び業務委託受託者の従事者を対象に、県から千葉県新型コロナウイルス感染症対策従事者慰労金として、一人当たり20万円が支給されています。

住環境の整備について

問 日向小学校では、登下校時にスクールバスを運行していますが、バス停設置場所の選定及びバス乗降時の安全対策をどのように行っているのか伺います。

答 教育部長 日向小学校のスクールバスの導入にあたっては、できる限り広い土地が確保できるように、地域の皆様にご協力いただきました。そのうえで、乗降箇所については、児童が車道にはみ出さずに乗降できる箇所を基本として選定しています。

さらに、停車時にバスの陰に児童が遮られないよう、見通しの良い場所や横断歩道との位置も含め、乗降箇所を選定しています。

また、バスの乗り方教室などを通し、乗り方の指導を行い、待機や歩くとき

は一列に整列して通学するよう、児童へ指導をしています。

問 県道日向停車場極楽寺線の雨坪地先において、難航していた用地交渉が解決し、工事が始まりましたが、その進捗状況について伺います。

答 建設環境部長 現在、事業実施中の雨坪地先の県道の道路整備の進捗状況ですが、事業主体である千葉県山武土木事務所へ確認したところ、用地確保後、道路排水の流末を確保するための周辺排水路の整備が完了し、今後、車道の

拡幅と歩道整備の工事に着手すると聞いています。

市としては、当該道路整備事業の早期完了について、県へ要望していきます。



雨坪地先の県道

問 この場所ですが、8月で一旦、工事は終了しており、工事前よりも道路の幅が狭くなっており、車のすれ違いができない状況になっています。

早急な工事着工を県へ要望していただきたいと思います。市長の考えを

伺います。

答 市長 雨坪地先の件については、私も現地の状況を確認しています。事故防止対策も含め、県へしっかりと要望したいと思います。

自然災害対策について

問 作田川上流部の調節池の改修工事及び日向橋下流部のしゅんせつ工事の進捗状況について伺います。

答 建設環境部長 事業主体である千葉県山武土木事務所を確認したところ、まず、作田川改修事業については、現在、成東堰橋の上部工の工事を行っており、完成には、あと数年の期間を要すると聞いています。

次に、源川調節池のしゅんせつ事業は、もともとの池の深さを回復させる工事になります。この工事に伴う現地調査が終了し、本年8月中旬に現場着手しています。順調に進めば、10月には、工事が完了するものと聞いています。

最後に、川幅の区域を掘削するため、作田川河道掘削工事については、緊急しゅんせつ推進事業により、JR日向駅から成東寄りにある弓手踏切近くの新殿内橋の上流部を昨年度実施し、今年度も引き続き実施していく予定と聞いています。